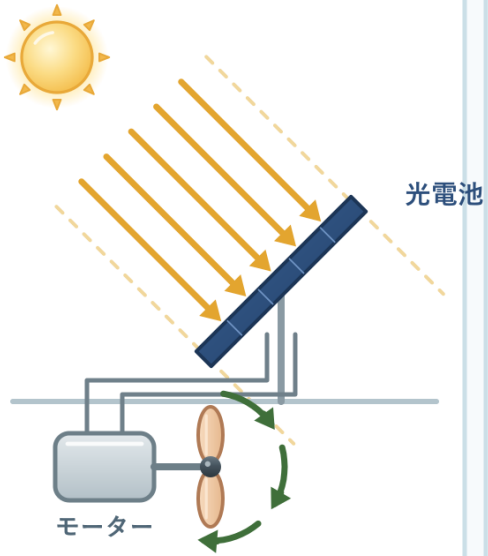
光電池に当てる光と電気

光電池にモーターをつなぐと、光の当て方によって回り方はどう変わるだろう

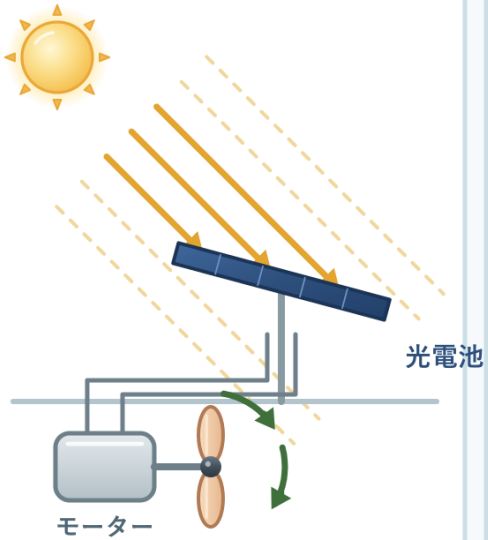
1 日光を正面から当てる



よく回る

当たる光が多い

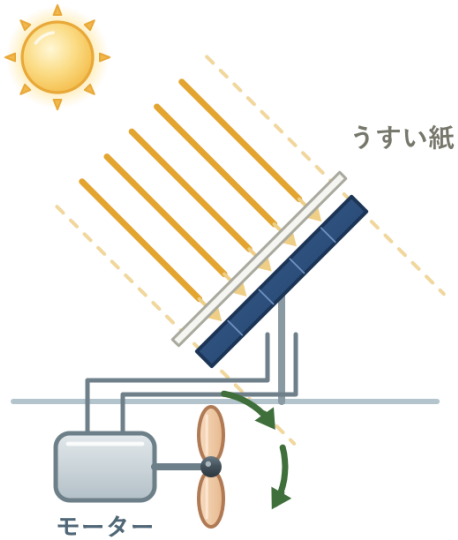
2 日光をななめから当てる



①よりゆっくり回る

当たる光が少ない

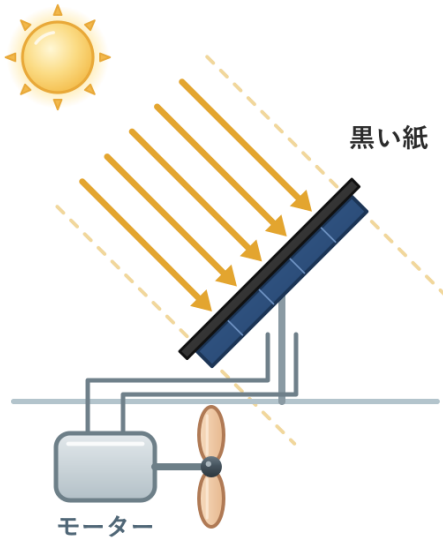
3 うすい紙をかぶせる



①よりゆっくり回る

光が弱くなる

4 黒い紙で全体をおおう



回らない

光が当たらない

そろえる条件：同じ光電池とモーター、同じ時こくの日光　　変える条件：光の当て方

まとめ

光電池に当たる光が強いほど、モーターはよく回る（電流が大きい）。

光が当たらないと、電気はつくられない。

光電池は、光を受けて電気をつくる。

安全のために

太陽を直接見ない。

光電池や導線は、日光で熱くなることがある。

※ 模式図（横から見た様子）。光の矢印の数は当たる光の量の目安。回り方は例。完全な操作手順ではない。